

福祉サービス第三者評価 評価結果

【保育所】

うちゅう保育園やまて

横浜市中区千代崎 1-25-23

運営主体: 社会福祉法人 翠峰会

実施概要	1 ページ
総合評価 (評価結果についての講評)	2～4 ページ
評価領域ごとの特記事項	5～6 ページ
分類別評価結果	7～16 ページ
利用者家族アンケート分析・集計結果	17～24 ページ
利用者本人調査分析	25～27 ページ
事業者コメント	28 ページ

2009年3月2日公表

実施機関: 特定非営利活動法人 市民セクターよこはま

実施概要

事業所名	うちゅう保育園やまて（保育所）	
報告書作成日	2009年2月6日	評価に要した期間 4ヶ月間
評価機関	特定非営利活動法人 市民セクターよこはま	

評価方法

<p>1、自己評価</p> <p>実施期間 08年9月24日～08年11月21日</p>	<p>評価機関による説明、職員会議、書面による通知、事務長による個別の説明などを通じて趣旨等を周知し、全職員が記入して提出した。</p> <p>事務長が評価項目ごとに回答数を取りまとめ、職員会議で報告・意見交換を行った。また、施設長、理事長とも協議をしながらまとめた。</p> <p>自己評価票の記入に合わせて、園独自のアンケートを行い、職員の改善課題・関心項目について集約をしていった。</p>
<p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 08年10月27日～08年11月9日</p>	<p>全園児の保護者（61家族）に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡して配布した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p>
<p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日：第1日 08年12月10日 第2日 08年12月12日</p>	<p>[第1日]</p> <p>午前：各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：書類調査。園長・事務長・主任に面接調査。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前：朝は登園の様子や職員ミーティングの様子を観察。 その後、各クラスで保育観察。 昼食：幼児クラスで園児と一緒に食べながら、保育観察。 午後：各クラス担任保育士6名、看護師1名、栄養士1名、非常勤職員1名に個別に面接調査。 その後、理事長・園長に面接調査。 最後に意見交換を行い、終了。</p>
<p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日：第1日 08年12月10日 第2日 08年12月12日</p>	<p>観察調査は、調査員が各クラスに分かれて実施した。戸外・園外での活動にも同行した。</p> <p>幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p>

総合評価（評価結果についての講評）

【施設の概要】

「うちゅう保育園やまて」は、JR 根岸線「山手」駅から徒歩では約 20 分、またはみなとみらい線「元町・中華街」駅から徒歩 15 分ほどの閑静な住宅地に位置します。園舎は 2 階建ての鉄筋コンクリート造りです。施設には園庭を備えていて、目の前に公園があり、向かいに北方小学校があります。

当園は、2006 年(平成 18 年)4 月 1 日に 60 人定員で開園した新しい保育園です。平日は午前 7 時から午後 8 時、土曜日は午前 7 時から午後 4 時 30 分まで開園しています。(延長保育時間含む)

運営法人は、社会福祉法人 翠峰会です。法人では、当園のほかにも東急東横線「反町」駅近辺にある「うちゅう保育園たんまち」も系列園として運営しています

「大きな夢 惜しまぬ努力」を保育理念とし、乳児に関しては「“保育はこうあるべき”ではなく、保育園の中で子どもがどう育っているかにしっかり目を向け、各家庭の協力のもと子どもの成長を見守ること」、また幼児に関しては「子どもの意欲を保育士がしっかり捉え、最大限個性を引き伸ばす努力をすること」を方針としています。

高く評価できる点

1、子どもたちは、学んだことを日常の遊びに取り入れながら、日々楽しく過ごしています

園の特徴として、外部講師が担当するさまざまな「特別保育」の時間があります。毎日幼児クラスにおいては、絵画・英会話・音楽・チャイルドピクス・体操などを学んでいます。日々の遊びの中でも、少人数グループみんなで歌を歌いだしたり、英語で物を数えたり、ことわざのクイズを出しあったり、自由時間には鉄棒やなわとびで遊んだりするなど、その成果を自由に表現・体現しています。

さらに 2 人の栄養士の配慮のもと、季節感や行事に合わせた献立が用意されています。毎月、「世界の料理」を出す日を設定し、その国で有名なものを学んでいます。

子どもたちは、多くの学びから多くの遊びに発展させています。理事長の「学びから遊びへの創造」という考えが実践されています。

遊びの様子を見守る保育士は、子どもたちに対して公平に言葉かけをしながら、一人ひとりの気持ちを大切に受け止めています。

また、乳児クラスでは保育士がにこやかに子どもを抱いたり、声かけをしたり、給食の前にも食事の歌を歌ったりするなどの、日々を楽しく過ごす雰囲気作りを演出しています。乳児クラスの子どもたちは、幼児クラスの特別保育の見学や異年齢児交流の時間を設けられながら、幼児クラスへの進級を心待ちにしている様子です。

2、子どもたちは、生活のメリハリをつけながら、日々を過ごしています

日常生活の中で、園長を中心に保育士全員が、子どもたちに「あいさつ・お行儀」をその都度注意・指導している場面が見受けられます。それを受けた子どもたちは、「おはようございます」・「行ってきます」などのあいさつを、生活の各場面で自発的に行っています。

また、食事のマナーについてもその都度注意・指導を徹底しています。5 つのお食事マナー「 おおきいこえでしゃべらない、きちんといすにすわる、ひじをつかない、きめられたじかんまでにおわる、

じぶんのこぼしたものはひろってすてる」は、小学校就学前の5歳児クラスで徹底しています。園で過ごす最後の年ということもあり、園長自らお昼の時間に一緒に食事をして過ごしています。

子どもたちは、遊ぶ時間は思いっきり遊びながらもマナーを身につけ、日々メリハリをつけた生活を過ごしています。

3、園長の長い経験と指導力のもと、職員が実践したい保育を求め、改善が進んでいます

保育計画・保育日誌などの日々の日常保育に関するものから、非定例的な事故報告などに至るまでのさまざまな書類において、園長自らによるポイントを押さえた指導や助言、賞賛（時には注意）などの内容が随所に記録されています。園長の長い経験と重みのある信念が、日常の保育や園全体の運営を支えていることがうかがえます。

この園長の信念・指導力を受けて、比較的若い職員が多い現場においても、一人ひとりが安心して自分のやりたい保育を相談・実践している姿が見受けられます。また、職員相互の連携ならびに職場の雰囲気良さが随所に見られ、主任やクラスリーダーを中心とした職員間ミーティングを行っています。ミーティングは定期的なものから、日常保育の合間で行うものまで、より良い保育を求めるための話し合いを適宜行い、日々保育の改善に努めています。

改善や工夫が望まれる点

1、さらに踏み込んだ保護者との対話を

開園3年目を迎え、保護者からの要望を適宜受け入れながら、意見に対する回答を丁寧にしてきた結果、園への要望・意見は目に見えて少なくなってきました。

これまでも園では、意見箱の設置・各種アンケートの回収・送迎時の声かけ・定期的開催している意見交換会など、保護者からの意見・要望を幅広く聞くための工夫を行ってきました。また、提示された意見・要望に対しての文書による回答も行ってきました。開園当初よりも落ち着いた園の様子や、理事長・園長をはじめとした職員全員の努力によって、保護者からの理解が深まってきた様子がうかがえます。

しかしながら、保護者の中には、「保護者同士が話し合える機会(保護者懇談会)」や「園と保護者の交流機会」を望んでいる声があります。保護者に対する基本理念の周知度は、約半数というアンケート結果もあります。

今後は、園から保護者へ積極的なアプローチを展開し、利用するすべての保護者から意見・要望を聞き、相談も気軽にできるように、職員一人ひとりが積極的に問いかける姿勢を保ち「さらに踏み込んだ保護者との対話」を実現していくことが期待されます。

2、スーパーバイザーである主任クラス職員の計画的な人材育成を

職員個人の資質向上のため、年3回の系列園との合同会議・職員全体会議や職員個別面談などを通して、園の方針や期待する役割は伝えていきます。全職員から異動希望の有無も年1回集約し、必要な人材の確保・補充に役立てています。

開園3年目ということもあり、今までは、理事長の「土台づくり」という言葉どおりに職員一人ひとりの土台が固められてきた時期でもありました。また、開園当初の時期のため、保育現場の安定を優先課題としてきたこともあり、主任・クラスリーダー・職員の人材育成計画が策定されていませんでした。

今後は、園(法人)の中期計画を策定すると同時に、まずはその方針に沿った主任クラス職員の人材育成を計画的に行うことが望まれます。

3、園の専門性を活かした地域子育て支援の推進を

園は地域の施設として歴史がまだ浅く、地域高齢者グループと子どもたちが交流したり、職員が地域のイベントを手伝ったりなどの交流はまだ十分とは言えません。

また、一時保育の受け入れは年間でのべ 200～250 名ほど行っていますが、さらに保育園の専門性を活かした積極的な地域支援は、まだこれからという段階です。

今後は、地域住民に対しての相談事業や子育て支援について、他施設との検討会・研究会開催などの取り組みを展開し、その地域のニーズに合わせた子育て支援を、より積極的に進めることが望まれます。

評価領域ごとの特記事項

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構が定めた「評価領域」に則って、記載しています。

1、人権の尊重

- ◇ 「大きな夢、惜しまぬ努力」を保育理念としています。サービスは、保育方針「保育はこうあるべきではなく、園の中で子どもがどう育っているかにしっかり目を向け、各家庭の協力のもと子どもの成長を見守る(乳児)」・「子どもの意欲を保育士がしっかり捉え、最大限個性を引き伸ばす努力をする(幼児)」に沿って実施されています。
- ◇ 個人情報の取り扱いや守秘義務については、全職員が周知し、保護者にも説明しています。個人情報を含む記録は、園長室と事務室兼医務室で管理しています。
- ◇ 虐待が明白になったときの報告・相談体制は考えられていますが、現在まで事例はありません。職員は普段から子どもをよく観察し、虐待の予防や早期発見に努めています。

2、意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供

- ◇ 施設内の清掃は毎日行われ、屋内・外を清潔に保っています。また、保育士は通風・換気に気を配り、1日2回の換気をルール化し実践しています。
- ◇ おもちゃや文房具の数は多くはありませんが、子どもたちが自由に取り出したり、保育士が複数のものから好きなものを選ばせたりして遊んでいます。特に絵本については、数も多く内容も吟味され、子どもたちが出し入れしやすくなっています。
- ◇ 外部講師による1日30分程度の幼児の「特別保育」に力を入れるとともに、自由遊びの時間も十分とっています。子どもたちは、学んだことを日常の遊びにも取り入れています。
- ◇ 子どもたちは給食の前に食卓の準備をし、食事の歌を歌ったり、献立の紹介をしたりして給食を楽しんでいて、強制されなくても決められた時間内にほとんど残さずに食べる習慣がついています。
- ◇ 食育に力を入れ、子どもと一緒に調理したものや、子どもたちからのリクエストメニューや、園庭で収穫したものを調理して給食に出しています。
- ◇ 子どもたちは、園長をはじめ保育士たちの指導により、あいさつなどのマナーを身につけ、日々メリハリをつけた生活を過ごしています。

3、サービスマネジメントシステムの確立

- ◇ 保育計画は、月1回開催の職員会議やクラスミーティングで、職員全員がかかわり作成しています。なお、作成後の保育計画は必ず理事長と園長がチェックし、年度途中に見直しも行っています。
- ◇ 個々の発達記録(保育全般「生活・遊び・感覚・興味」、家庭「環境・健康」、教育「音楽・国語・運動・図工作・数学・英語」)をもとに3つの学期に区分した年間指導計画、年齢ごとに項目が異なる月間指導計画を作成し、必要に応じて見直しを行っています。
- ◇ 苦情受け付け担当者は事務長で、苦情解決責任者は園長と決まっており、事務室前に掲示するとともに、書面で保護者に配布しています。また、園内や第三者委員への苦情相談窓口は、保護者へ周知徹底を図っていますが、権利擁護機関など他機関の紹介には至っていません。
- ◇ 感染症の発症については、入園時、対応を明記した文書を保護者に配布し説明しています。発症の情報があったときも、文書を掲示したり配布したりして速やかに保護者に伝えています。

- ◇ 保護者からの意見には丁寧に回答しながら、適宜要望を受け入れてきました。今後さらに、職員一人ひとりが保護者に対して、積極的に問いかける姿勢を保ち続けることが期待されます。

4、地域との交流・連携

- ◇ 地域住民からの問い合わせには丁寧に答えていますが、相談事業は行っていません。子育て支援について、他施設との検討会・研究会なども行っていませんので今後の取り組みが期待されます。
- ◇ 町内会から和太鼓を借りたり、近くの学校と交流したりしています。特に隣接の小学校とは定期的に交流し、運動会の会場を借りるなどしていますが、園の施設開放や備品の貸し出しはしていません。今後地域に働きかける取り組みが期待されます。
- ◇ 園の夏祭り、運動会、クリスマスコンサートを町内会の掲示板で知らせ、地域住民を招待しています。また散歩の折など、職員も子どももあいさつを励行しています。

5、運営上の透明性の確保と継続性

- ◇ 守るべき「法・規範・倫理等」については、職員マニュアル等に規定し、職員へ配布・周知徹底を図っています。
- ◇ 主任は、個々の職員にあわせて、保育の技術を伝えたり、保育計画に助言をしたりするなど指導を行っています。また、園長が主任業務の補佐を適宜行いながら、主任への助言・指導も行っています。今後は、園として主任の計画的な育成プログラムを確立し、個々の職員に明示することが望まれます。
- ◇ 運営面での重要な改善課題について、職員に情報を周知し、リーダーを中心とし組織全体で取り組める仕組みづくりに努めています。

6、職員の資質向上の促進

- ◇ 園長によるポイントを押さえた指導・助言や、職員同士の連携・話し合いにより、保育の改善が進んでいます。
- ◇ 研修計画は理事長・園長が作成しています。また、研修担当者は事務長が担い、適宜職員の要望も組み込むように配慮しています。
- ◇ 新人・中堅・スーパーバイザーの育成に関する計画があり、理事長との個別面談で職員一人ひとりに期待する役割は伝えられているものの、基準を明文化するまでには至っていません。
- ◇ 個別面談時や年1回の異動希望等において、職員一人ひとりの満足度を把握するように努めています。また、園長は日常の話し合いの中で各職員の満足度を把握するよう心がけています。
- ◇ 開園以来3年目で、内部研修や体制を整備し成果が上がっていますが、実習生を受け入れたことはありません。今後は、後進を育て保育内容を見直す機会となる実習生の受け入れの検討が望まれます。

分類別評価結果

横浜市評価基準を使用しています。評価基準の詳細については、横浜市健康福祉局「福祉サービス第三者評価」のホームページ <http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hyouka/index.html> を参照して下さい。









「ひょう太」の数の意味は以下の通りです。

3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある


評価分類の結果は、各分類を構成する1～6つの項目の評価結果で決まります。「ひょう太」が1つしかつかない項目が1つでもあると、その項目の属する評価分類の結果は「ひょう太」1つとなります。

評価領域 利用者（子ども）本人の尊重

評価分類	評価の理由(コメント)
<p>- 1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「大きな夢、惜しまぬ努力」を保育理念としています。サービスは、保育方針「保育はこうあるべきではなく、園の中で子どもがどう育っているかにしっかり目を向け、各家庭の協力のもと子どもの成長を見守る(乳児)」・「子どもの意欲を保育士がしっかり捉え、最大限個性を引き伸ばす努力をする(幼児)」に沿って実施されています。 ・指導計画は、月1回開催の職員会議やクラスミーティングで、職員全員がかかわり作成しています。なお、作成後の指導計画は必ず理事長と園長がチェックし、年度途中に見直しも行っています。 ・保育士は日々様子から子どもの意思をくみ取り、指導計画の作成と見直しに活かしています。
<p>- 2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園説明会の後に、保護者と個別面接をしています。また、面接内容は個人ごと記録し、全職員が子どもの生育歴や家族の状況を把握できるようにしています。 ・連絡帳は1日の様子(睡眠・排便・健康状態・朝食・生活状況など)を記入し、積極的に保護者とのコミュニケーションを図っています。なお、0歳児の登園初日は保護者同伴を原則とし、家庭での様子や親子関係を把握・観察しています。 ・個々の発達記録(保育全般「生活・遊び・感覚・興味」、家庭「環境・健康」、教育「音楽・国語・運動・図画工作・数学・英語」)をもとに3つの学期に区分した年間指導計画、年齢ごとに項目が異なる月間指導計画を作成し、必要に応じて見直しを行っています。
<p>- 3 快適な施設環境の確保</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の清掃は毎日行われ、屋内・外を清潔に保っています。また、保育士は通風・換気に気を配り、1日2回の換気をルール化し実践しています。 ・シャワーや沐浴設備は、使用後はその都度消毒するなど、衛生面の配慮をしています。 ・低年齢児は、年齢ごとの小集団活動に適した空間を確保しています。また、保育室内では着替えの場所や食事の場所などを一定の場所に定め、子どもたちが安心して過ごせるように配慮しています。

<p>- 4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別指導計画は、子どもの個々の発達記録に応じて、変更と見直しを行っています。また、重要部分の変更・見直しについては保護者に説明し、同意を得ています。 ・一人ひとりの子どもの発達状況は、個人ごとに「個人面談報告書」や保護者記入の「児童票」に記録しています。この記録は、全職員が必要なときに見られるようになっています。なお、記録の管理は、園長または事務長が行っています。
<p>- 5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの相談には適宜応じるなど、特に配慮が必要な子どもを積極的に受け入れる姿勢があります。 ・アレルギー疾患のある子どもについては、保護者から医師の指示書の提出を受けて、適切な対応が取れるよう努めています。また、アレルギー疾患のある子どもごとに一覧表を作成し、調理室や職員室へ掲示し、保育士・栄養士に周知徹底を図っています。 ・文化や生活習慣の違う子どもが数名在籍しています。食事方法などの生活習慣については、保護者に必ず確認をとり、宗教上食べられない食べ物がある子どもには違う食材を使うなどの配慮をし、考え方の違いを認め、尊重しています。
<p>- 6 苦情解決体制</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情受け付け担当者は事務長で、苦情解決責任者は園長と決まっております。事務室の前に掲示するとともに、書面で保護者に配布しています。 ・園内や第三者委員への苦情相談窓口は、保護者へ周知徹底を図っているものの、権利擁護機関など他機関の紹介には至っていません。 ・苦情の受け付け・解決に関する体制・対応方法を文書化しています。提出された要望や苦情には、第三者委員を交えて対応する仕組みができています。

評価領域 サービスの実施内容

評価分類	評価の理由（コメント）
<p data-bbox="161 344 472 383">- 1 保育内容[遊び]</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="592 259 1474 427">・おもちゃや文房具の数は多くはありませんが、子どもたちが自由に取 り出したり、保育士が複数のものから好きなものを選ばせたりして遊 んでいます。特に絵本については、数も多く内容も吟味され、子ども たちが出し入れしやすくなっています。 <li data-bbox="592 439 1474 607">・子どもたちは、保育室に敷物を敷いたり、テーブル、いすを移動した りしたところで落ち着いて遊び込んでいます。園庭でも固定遊具や鬼 ごっこ、縄跳びなど思い思いの遊びをしていて、保育士は見守ったり 一緒に遊んだりしています。 <li data-bbox="592 618 1474 831">・外部講師による1日30分程度の幼児の「特別保育」に力を入れると ともに、自由遊びの時間も十分とっています。天気のよい日は散歩や 公園遊びを多く取り入れ、子どもたちは自然にふれたり地域の人に あいさつをしたりしています。屋外活動では帽子をかぶり、紫外線をよ けるなど健康面の配慮もしています。 <li data-bbox="592 842 1474 965">・園庭の大小のプランターを中心に、多くの花や野菜、イネ、サツマイ モなどを育てています。小動物の飼育はしていませんが、アリ、ダン ゴムシなど目にふれる生き物をよく観察しています。 <li data-bbox="592 976 1474 1234">・保育士は、生活場面に歌や手遊びを多く取り入れています。幼児は「特 別保育」の時間に絵画、英会話、音楽、チャイルドピクス、体操、な どを学んでいて、その成果が遊びの中でも表現されています。年長の子 どもたちは、習字や数も興味を持って学んでいます。職員は子ども たちを見守り、時には助言をしています。特別保育の外部講師と役割 を分担して連携し、子どもたちから信頼されています。 <li data-bbox="592 1245 1474 1319">・長時間保育や夏季保育、そのほか日々の場面で異年齢混合保育の機会 も多く、子どもたちは主体的に異年齢の子どもとかわっています。

- 1 保育内容[生活]



- ・子どもたちは給食の前に食卓の準備をし、食事の歌を歌ったり、献立の紹介をしたりして給食を楽しんでいて、強制されなくても決められた時間内にほとんど残さずに食べる習慣がついています。バランスよい栄養という観点から、盛り付けは調理室でされ、おかわりはありません。
- ・乳児には、子どもに応じて保育士が抱っこをして、やさしく授乳しています。離乳食も初期・中期・後期・完了期ときめ細かい献立で、家庭と連絡しあいながら子どものペースを大切にしています。
- ・2人の栄養士の配慮のもとに、季節感や行事に合わせた献立が用意されています。毎月、「世界の料理」を出す日を設け、手作りのその国の国旗を添えています。
- ・安全でおいしいこだわりの食材を使用し、食器も安全性を確認している複数種類のものを使用しています。栄養士は保育士との間の連絡ノートで、子どもの喫食状況を把握し、時間を見つけて食事の様子を見て、苦手な野菜はみじん切りにするなどの工夫をしています。
- ・食育に力を入れ、子どもと一緒に調理したものや、子どもたちからのリクエストメニューや、園庭で収穫したものを調理して給食に出しています。
- ・幼児食、離乳食ともに、おやつと昼食のメニューやその食材を明記した献立表を家庭に配っています。園だよりも、献立についてのコメントやレシピを載せています。
- ・玄関に幼児食、離乳食、おやつのサンプルを展示して保護者が見ることができですが、保護者が給食を試食できる機会はこれまでになく、検討が望まれます。
- ・午睡の場を工夫しています。午睡の時間は決まっていますが、眠れない子は静かに過ごさせています。保育士は15分おきに呼吸状態などを見守り、日誌に記録しています。5歳児は秋以降、徐々に午睡の時間をなくしています。
- ・排泄やトイレトレーニングについては、家庭と連携して個人差に対応しています。おもらしをした子どもにはさりげなく始末し、成功した子どもはほめるなど子どもの心に配慮しています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



- ・健康管理についてのマニュアルは整備され、子どもの健康に関する記録は、看護師が管理しています。
- ・健康診断や身体計測の結果、園での健康状態などは、その都度保護者に連絡ノートなどで伝えていきます。看護師は乳児の連絡ノートを毎日点検するなど、保護者とよく連携しています。
- ・6月に歯科健診を実施し、日常の歯磨きについても、子どもの発達段階に応じて保育士が仕上げ磨きをするなど対処しています。
- ・感染症の発症については、入園時、対応を明記した文書を保護者に配布し説明しています。発症の情報があつたときも、文書を掲示したり配布したりして速やかに保護者に伝えていきます。保育中に発症の疑いが生じた場合は、嘱託医や保護者に連絡し、家庭と子どもたちに配慮した対応をしています。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



- ・ 衛生管理についてのマニュアルがあり、職員が共有しています。嘔吐物の処理などは、看護師が現場で経験の少ない保育士などに指導しています。感染症対策として、安全性の高い消毒液を使用しています。
- ・ 清掃については、共用部分は週3回業者に委託し、そのほかの日と室内は職員が行っていて、清潔が保たれています。さらに、点検表での確認が望まれます。
- ・ 子どもたちも、遊んだ後や食後の片付けなどをきちんとしています。手洗いやトイレの使い方にもさらに清潔への意識付けが望まれます。

- 2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



- ・ 安全管理に関するマニュアルは職員に周知され、緊急連絡体制も確立しています。
- ・ 毎月の避難訓練の実施時や子どものケガや事故の発生時などには、記録をとり反省をして、改善するようにしています。どんなケガでも保護者に報告しています。
- ・ 外部からの侵入に対するセキュリティとして、機械警備のほか、保護者がICカードによって登降園するシステムを導入しています。警察や警備会社直通の非常ボタンがあり、不審者情報を保護者に提供するなど、普段から安全対策に配慮しています。

- 3 人権の尊重





- ・ 保育士は子どもたちを呼び捨てにせず、やさしく声かけをしています。子どもの言い分をよく聞き、しかるときも子どもの目の高さにかがんで諭すなど、子どもの気持ちに配慮しています。
- ・ 保育室にきちんと仕切ったコーナーはないが、子どもが部屋の隅やロッカーの陰などに1人でいると、保育士はそれとなく見守っています。ほかの子どもに知られずにゆっくり話し合うことのできる部屋は用意されています。
- ・ 個人情報の取り扱いや守秘義務については、全職員が周知し、保護者にも説明しています。個人情報を含む記録は、園長室と事務室兼医務室で管理しています。
- ・ 虐待が明白になったときの報告・相談体制は考えられていますが、現在まで事例はありません。職員は普段から子どもをよく観察し、虐待の予防や早期発見に努めています。
- ・ 遊び、行事の役割、持ち物、並び順など性別による区別はしていません。職員は保護者についても、父親・母親の役割を固定的にとらえていません。

- 4 保護者との交流・連携






- ・保護者に対して保育の基本方針を、入園の説明会や、園だより、意見交換会、園のホームページなどで知らせています。さらに、保護者全体の理解を深める手だての工夫が望まれます。
- ・子どもたちの全員に連絡ノートがあり、特に乳児についてはきめ細かい連絡をしています。年2回個別面談を実施し、保護者の意向を聞き情報交換をしています。相談にも随時応じています。
- ・年度初めに年間行事予定を、毎月「園だより」と「クラスだより」を保護者に配布し、保育内容や行事について知らせています。各保育室の前に、その日の子どもたちの様子を知らせるホワイトボードも掲示しています。
- ・個別面談期間に保護者の保育参観ができますが、そのほかにも希望があれば受け付けています。運動会などでは、保育参加の機会もあります。
- ・保護者との意見交換の場を設けたり、希望があれば、クラス懇談会を開いたりしています。保護者がグループ活動を行うときは、場所の提供や協力をしてはいますが、全体の保護者組織はありません。家庭が孤立せず、保護者同士が協力したり、保護者と園が子どもたちのために協働したりする保護者会の役割を知らせていく努力が望まれます。




評価領域 地域支援機能

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対して、運動会やクリスマスコンサートに招待したり、散歩や公園遊びであいさつや話をしたりしています。 ・地域住民からの問い合わせには丁寧に答えていますが、相談事業は行っていません。子育て支援について、他施設との検討会・研究会なども行ってないので、今後の取り組みが期待されます。 ・地域の子育て支援サービスとして、一時保育を提供しています。年間のべ 200～250 人が参加し、同年齢の園児のクラスで保育をし、たがいに刺激を受けています。
<p>- 2 保育園の専門性を活かした相談機能</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園のパンフレットやホームページで情報を公開していて、相談や問い合わせがあれば応じていますが、定期的な相談日は設けていません。今後、園長、理事長の見識や職員の専門性を活かした積極的な取り組みが望まれます。 ・運動会やクリスマスコンサートなどのお知らせを、町内会を通して地域住民に知らせています。 ・相談に関する医療機関や行政などの連絡先はリスト化され、職員が共有し担当者も決まっています。




評価領域 開かれた運営

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の夏祭り、運動会、クリスマスコンサートを町内会の掲示板で知らせ、地域住民を招待しています。また散歩の折など、職員も子どももあいさつを励行しています。 ・町内会から和太鼓を借りたり、近くの学校と交流したりしています。特に隣接の小学校とは定期的に交流し、運動会の会場を借りるなどしていますが、園の施設開放や備品の貸し出しはしていません。今後地域に働きかける取り組みが期待されます。 ・園の前の公園をはじめ、遠近の公園を散歩や遊びに利用して、出会う人と交流しています。運動会やサッカーなどで、近くの小学校やスポーツ施設の利用もしています。 ・同一法人の姉妹園と、年長児を中心にサッカーやお泊り保育を合同でしています。隣接の小学校とも訪問し合うなどの交流をしていますが、そのほかの福祉施設や文化施設などとの交流も望まれます。
<p>- 2 サービス内容等に関する情報提供</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の案内ポスターを区役所に掲示し、パンフレットを置いています。またホームページを開設して、サービス内容や最近の園の行事の様子などの情報を提供しています。内容の詳細についての問い合わせ先も明記しています。 ・区の広報紙への情報掲載をしています。インターネットの情報サイトの保育園探しに掲載の情報などにも、一定のアクセス数があります。 ・園への問い合わせには常時対応し、事前連絡のあった見学者は差し支えなければ当日でも受け入れ、パンフレットなどを渡しています。
<p>- 3 ボランティア・実習の受け入れ</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の学校の生徒が来園し、清掃などをする機会がありますが、園はこれまでは積極的にボランティアを受け入れ育成することはしていません。マニュアルの検討をはじめ、今後の取り組みが期待されます。 ・開園以来3年目で、内部研修や体制を整備し成果が上がっていますが、実習生を受け入れたことはありません。今後は、後進を育てるとともに保育内容を見直す機会ともなる実習生の受け入れについて、検討が望まれます近隣の学校の生徒が来園し、清掃などをする機会がありますが、園はこれまでは積極的にボランティアを受け入れ育成することはしていません。マニュアルの検討をはじめ、今後の取り組みが期待されます。

評価領域 人材育成・援助技術の向上

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 職員の人材育成</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・系列園からの人事異動を行いながら、園運営に必要な人員配置の見直しと人材の確保が行われています。 ・新人・中堅・スーパーバイザーの育成に関する計画があり、理事長との個別面談で職員一人ひとりに期待する役割は伝えられているものの、基準を明文化するまでには至っていません。 ・研修計画は理事長・園長が作成しています。また、研修担当者は事務長が担い、適宜職員の要望も組み込むように配慮しています。 ・内部研修は必要に応じて開催されていますが、非常勤職員を含め全員が受講できる体制にまでは至っていません。 ・非常勤職員は、責任上常勤職員の補佐的業務を任せています。園としてシフト組みには配慮しています。 ・非常勤職員も常勤職員と同様に、研修資料を見ることができると、日々保育の資質向上ができるような配慮をしています。今後は非常勤職員が積極的に勉強会・研修などに参加できるような体制づくりが望まれます。
<p>- 2 職員の技術の向上</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員会議やクラスミーティングでは、保育技術について話し合わせ、資質の向上が図られています。また、年3回開催している系列園全体の合同会議において、良いサービス事例をもとに話し合いが行われ、一層のサービス向上を目指しています。
<p>- 3 職員のモチベーション維持</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の経験・能力に応じた役割は、個人面談や全体会議において理事長を中心にその都度伝えているものの、園として求められる期待水準を明文化するには至っていません。 ・個別面談時や年1回の異動希望等において、職員一人ひとりの満足度を把握するように努めています。また、園長は日常の話し合いの中で、各職員の満足度を把握するように心がけています。

評価領域 経営管理

評価分類	評価の理由（コメント）
<p>- 1 経営における社会的責任</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・守るべき「法・規範・倫理等」については、職員マニュアル等に規定し、職員へ配布・周知徹底を図っています。 ・節電、節水を心がけ、必要に応じて使用量の推移や対前年比のデータを共有しながら、職員一人ひとりの意識付けに努めています。 ・職員一人ひとりに環境配慮の意識はあり、その取り組みが指示書等で明文化されています。
<p>- 2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・園の理念、基本方針は、職員会議や系列園合同会議等で職員へ周知徹底しています。 ・重要な意思決定については、職員とは十分に話し合いながら決定し、保護者へは納得できるように書面や口頭で丁寧に伝えていきます。 ・主任は、個々の職員にあわせて、保育の技術を伝えたり、指導計画に助言をしたりするなど指導を行っています。また、園長が主任業務の補佐を適宜行いながら、主任への助言・指導も行っています。今後は、園として主任の計画的な育成プログラムを確立し、個々の職員に明示することが望まれます。
<p>- 3 効率的な運営</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・重要な情報はクラスリーダーに意見を求め、話し合いを行っています。決定事項は全職員に文書で伝えていきます。 ・運営面での重要な改善課題について、職員に情報を周知し、リーダーを中心とし組織全体で取り組める仕組みづくりに努めています。 ・単年度の事業計画は策定していますが、法人としての中長期計画の策定までには至っていません。 ・今後は職員に対して、法人としての施設運営の方向性を明示するとともに、課題である後継者の育成について、計画的なプログラムを確立し、個々の職員に明示することが望まれます。

利用者（園児）家族アンケート 分析

- 1、実施期間 2008年10月27日～11月9日
- 2、実施方法 保育園から全園児の保護者に直接配付（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。
- 3、回収率 約65.6%（61枚配付、40枚回収）
- 4、所属クラス 0歳児クラス...6人、1歳児クラス...7人、2歳児クラス...8人、3歳児クラス...7人、
4歳児クラス...7人、5歳児クラス...5人

ただし同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて回答。

設問ごとの特徴

【問1】保育園の保育目標や基本方針について

「知っている」「まあ知っている」という回答をあわせて45%で、そのうち94.5%が「賛同できる」「まあ賛同できる」と答えています。知っているか・知らないかが「どちらとも言えない」という回答は32.5%になります。

【問2】入園時の状況について

「子どもの様子や生育暦などを聞く対応」については、95.0%の保護者が満足と答えています。その他の項目も、ほぼ80%超の保護者が満足と答えています。「入園時の見学の受け入れ」については、“開園時の入所のため見学をしていない”という理由で「その他」回答が多くありました。自由意見では、“行政の対応や新設園であったため、入園後の生活が把握しにくい”という不満の声がありました。

「満足」は、「満足」と「どちらかといえば満足」の回答をあわせた数値（以下同様）

【問3】年間の計画について

「年間の保育や行事の説明」については、82.5%の保護者が満足しているものの、「保護者の要望が活かされているか」の設問には、満足している保護者は60%に留まっています。ここには、“保護者参加の行事を増やしてほしい”という意見が多数ありました。

【問4】日常の保育内容について

「遊び」については、「戸外活動」「園外活動」「健康づくりへの取り組み」の各項目では、20～25%程度の不満が見られますが、「クラスの活動や遊び」「おもちゃや教材」「友達や保育者との関わり」の各項目については、80%以上の保護者が満足しています。自由意見では、特別保育について感謝の言葉が見受けられる一方、“外遊びの時間を増やしてほしい”という意見が数多くありました。

「生活」については、各項目とも80%超の保護者が満足しており、とくに「給食の献立内容」「基本的な生活習慣」「子どもの体調への気配り」については、90%以上の保護者が満足しています。

「不満」は、「不満」と「どちらかといえば不満」の回答をあわせた数値（以下同様）

【問5】「快適さや安全対策」について

「施設設備」「安全対策」などについて、80%超の保護者が満足していると回答しています。自由意見では、“エレベーターの使用方法に関して注意してほしい”という声がありました。

【問6】園と保護者との連携・交流について

「園からの情報提供」については、92.5%の保護者が満足しているものの、「行事の開催日や時間帯への配慮」「子どもの様子に関する情報交換」「迎えが遅くなる場合の対応」については、約25%の人が不満と回答しています。自由意見では、保護者懇談会(保護者同士が話し合える機会)の開催を望む声が数多くありました。

【問7】職員の対応について

「アレルギーや障がいへの配慮」が70%、「意見や要望への対応」が80%、それ以外の3つの項目については90%前後の保護者が満足と答えています。自由意見では多くの保護者が満足している様子が見られません。

【問8】総合満足度

87.5%の保護者が満足しています。

まとめ

- ◇ 園の保育目標や方針を知っている保護者は45%にとどまるものの、日々の保育の様子から、園を信頼し、安心して子どもを託していることが、全般的に高い満足度となって表れています。
- ◇ 保護者同士が話し合える機会を望む声が多数あり、同じ境遇の保護者同士で相談していきたい様子がうかがえます。

利用者（園児）家族アンケート集計結果

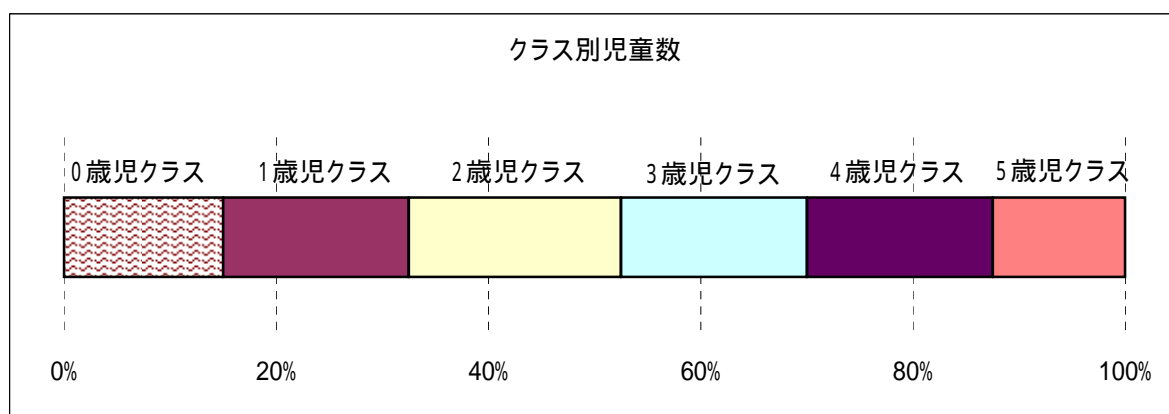
実施期間： 2008年 10月27日～11月9日

回収率： 65.6% （回収40枚 / 配布61枚）

【属性】

クラス別児童数							(人)
合計	0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス	無回答
40	6	7	8	7	7	5	0

同一家族で複数名が園に在籍している場合は、下の子どものクラスについて記入



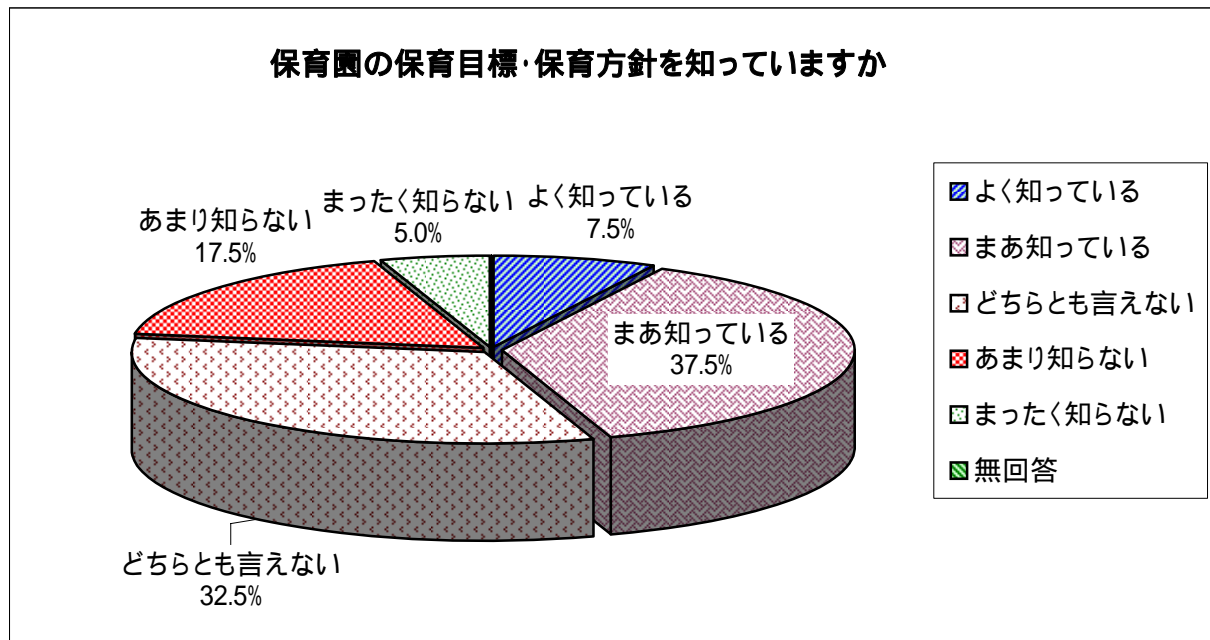
保育園の基本理念や基本方針について

問1: 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか

(%)

問1:	よく知っている	まあ知っている	どちらとも言えない	あまり知らない	まったく知らない	無回答	計
あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存じですか	7.5	37.5	32.5	17.5	5.0	0.0	100

(%は小数第1位まで表示し、合計の小数第1位を四捨五入すると100%になります。)

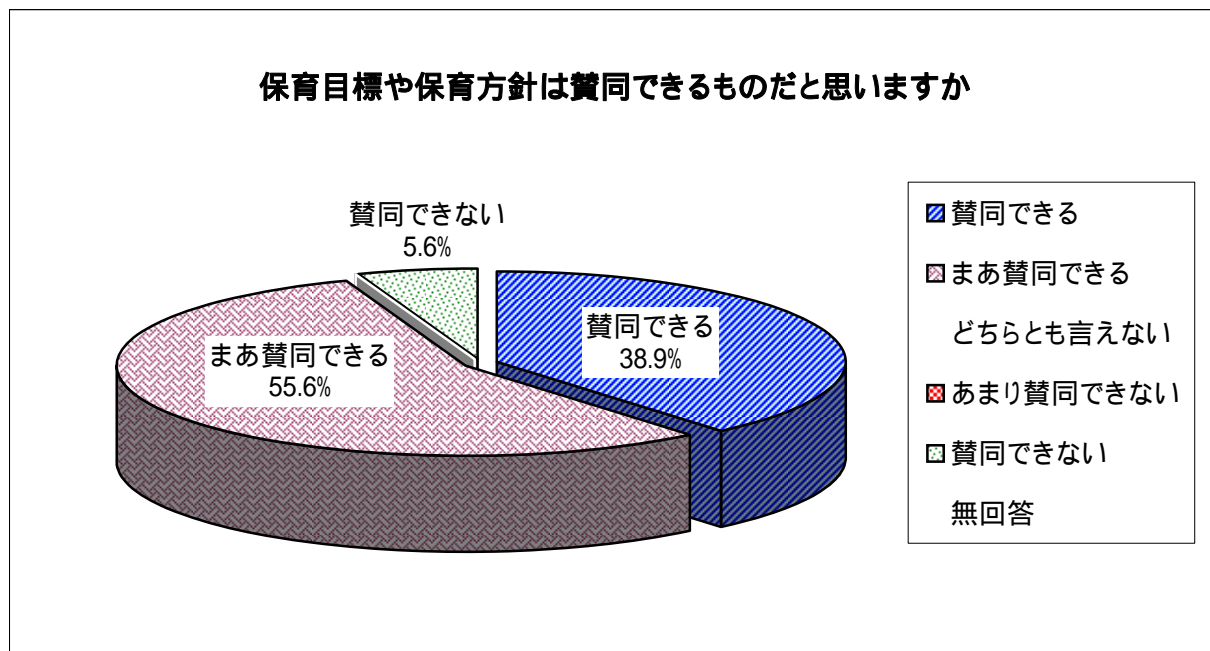


「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1: その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

(%)

付問1:	賛同できる	まあ賛同できる	どちらとも言えない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答	計
あなたは、その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか	38.9	55.6	0.0	0.0	5.6	0.0	100



保育園のサービス内容について

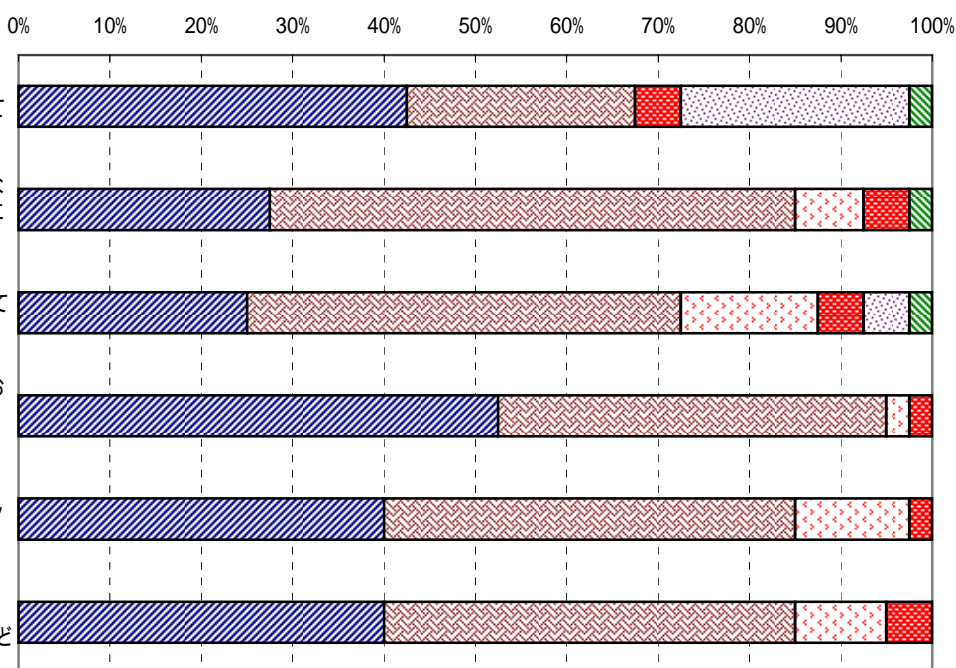
問2 入園時の状況について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
見学の受け入れについて	42.5	25.0	0.0	5.0	25.0	2.5	100
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	27.5	57.5	7.5	5.0	0.0	2.5	100
園の目標や方針についての説明には	25.0	47.5	15.0	5.0	5.0	2.5	100
入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	52.5	42.5	2.5	2.5	0.0	0.0	100
保育園での1日の過ごし方についての説明には	40.0	45.0	12.5	2.5	0.0	0.0	100
費用やきまりに関する説明については(入園後に食い違いがなかったかなども含めて)	40.0	45.0	10.0	5.0	0.0	0.0	100

入園時の状況について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



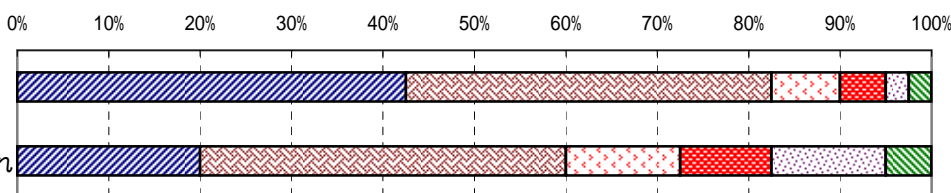
問3 年間の計画について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
年間の保育や行事についての説明には	42.5	40.0	7.5	5.0	2.5	2.5	100
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	20.0	40.0	12.5	10.0	12.5	5.0	100

年間の計画について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答

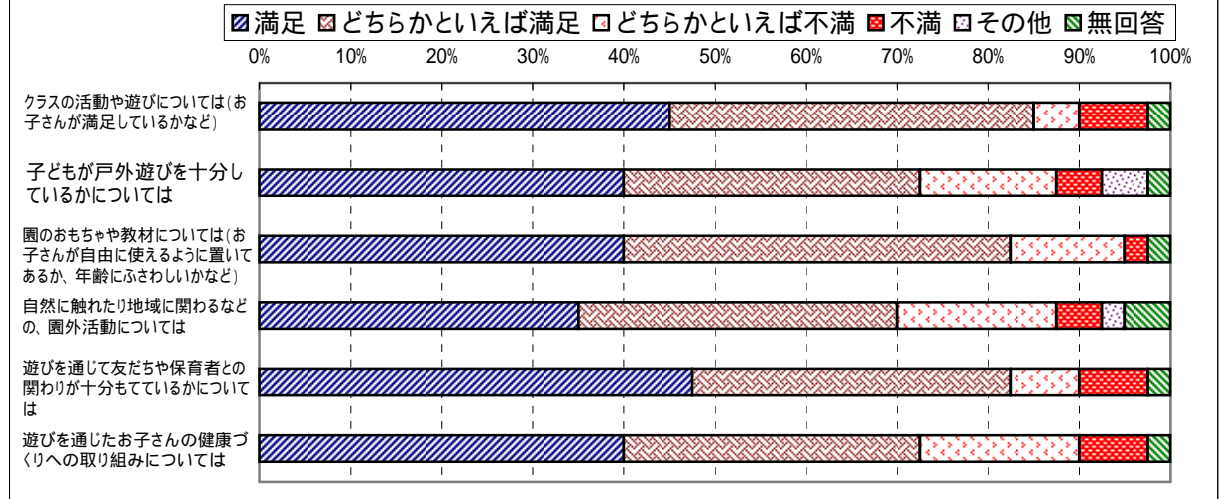


問4 日常の保育内容について

(%)

「遊び」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
クラスの活動や遊びについては(お子さんが満足しているかなど)	45.0	40.0	5.0	7.5	0.0	2.5	100
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	40.0	32.5	15.0	5.0	5.0	2.5	100
園のおもちゃや教材については(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	40.0	42.5	12.5	2.5	0.0	2.5	100
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	35.0	35.0	17.5	5.0	2.5	5.0	100
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	47.5	35.0	7.5	7.5	0.0	2.5	100
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	40.0	32.5	17.5	7.5	0.0	2.5	100

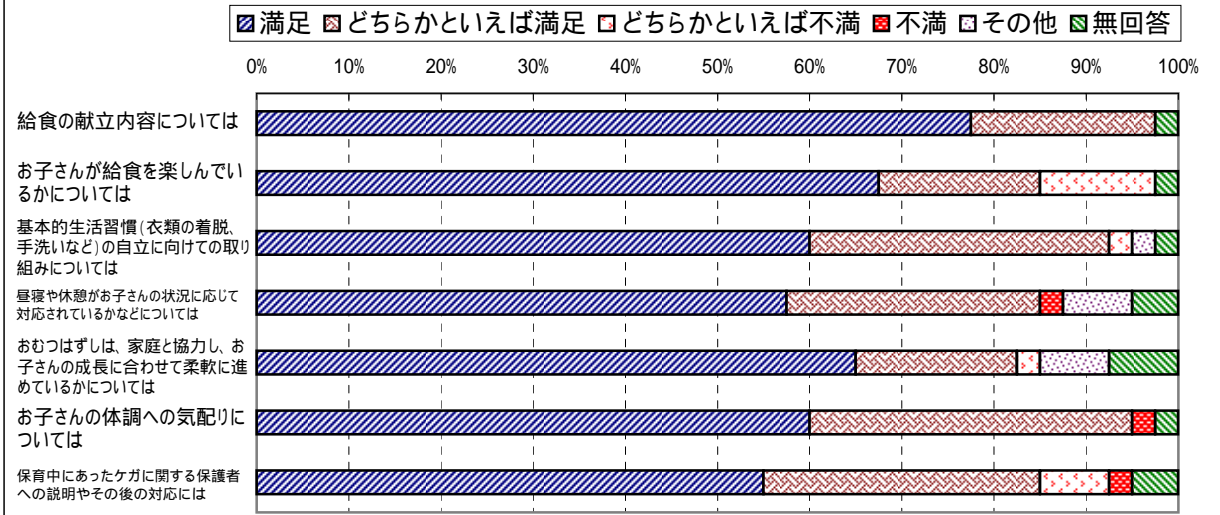
日常の保育内容「遊び」について



(%)

「生活」について	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
給食の献立内容については	77.5	20.0	0.0	0.0	0.0	2.5	100
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	67.5	17.5	12.5	0.0	0.0	2.5	100
基本的な生活習慣(衣類の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	60.0	32.5	2.5	0.0	2.5	2.5	100
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	57.5	27.5	0.0	2.5	7.5	5.0	100
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	65.0	17.5	2.5	0.0	7.5	7.5	100
お子さんの体調への気配りについては	60.0	35.0	0.0	2.5	0.0	2.5	100
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	55.0	30.0	7.5	2.5	0.0	5.0	100

日常の保育内容「生活」について



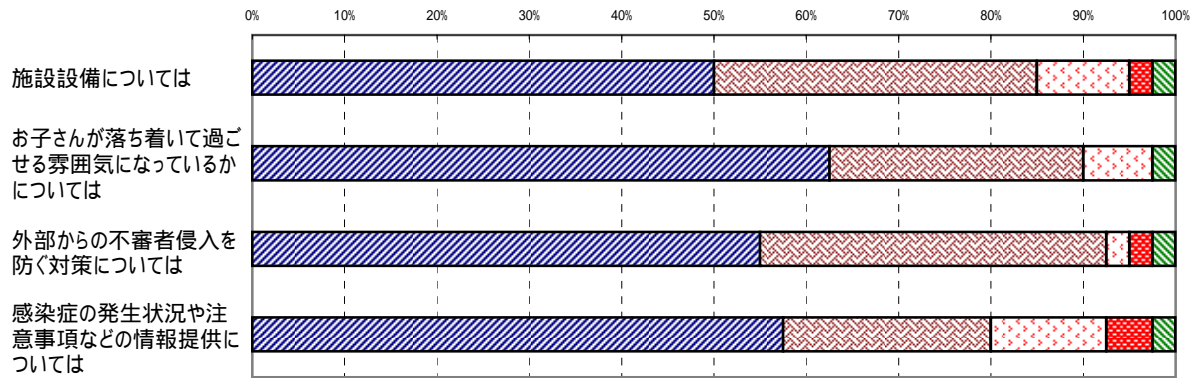
問5 快適さや安全対策などについて

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
施設設備については	50.0	35.0	10.0	2.5	0.0	2.5	100
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては	62.5	27.5	7.5	0.0	0.0	2.5	100
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	55.0	37.5	2.5	2.5	0.0	2.5	100
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	57.5	22.5	12.5	5.0	0.0	2.5	100

快適さや安全対策などについて

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



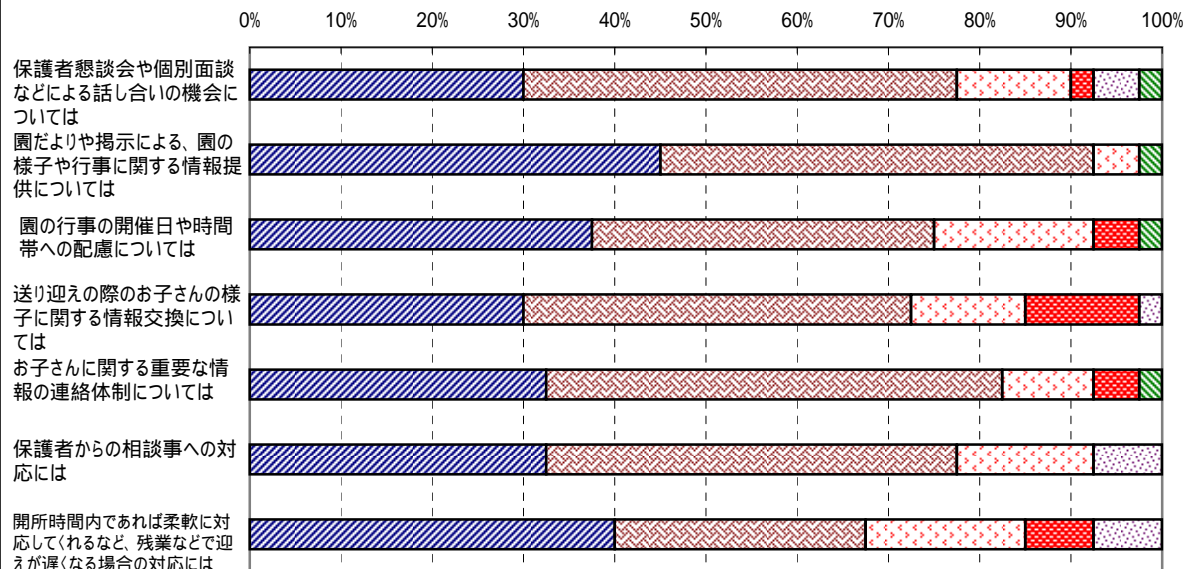
問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	30.0	47.5	12.5	2.5	5.0	2.5	100
園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については	45.0	47.5	5.0	0.0	0.0	2.5	100
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	37.5	37.5	17.5	5.0	0.0	2.5	100
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	30.0	42.5	12.5	12.5	2.5	0.0	100
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	32.5	50.0	10.0	5.0	0.0	2.5	100
保護者からの相談事への対応には	32.5	45.0	15.0	0.0	7.5	0.0	100
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	40.0	27.5	17.5	7.5	7.5	0.0	100

園と保護者との連携・交流について

■満足 ■どちらかといえば満足 □どちらかといえば不満 ■不満 □その他 ■無回答



問7 職員の対応について

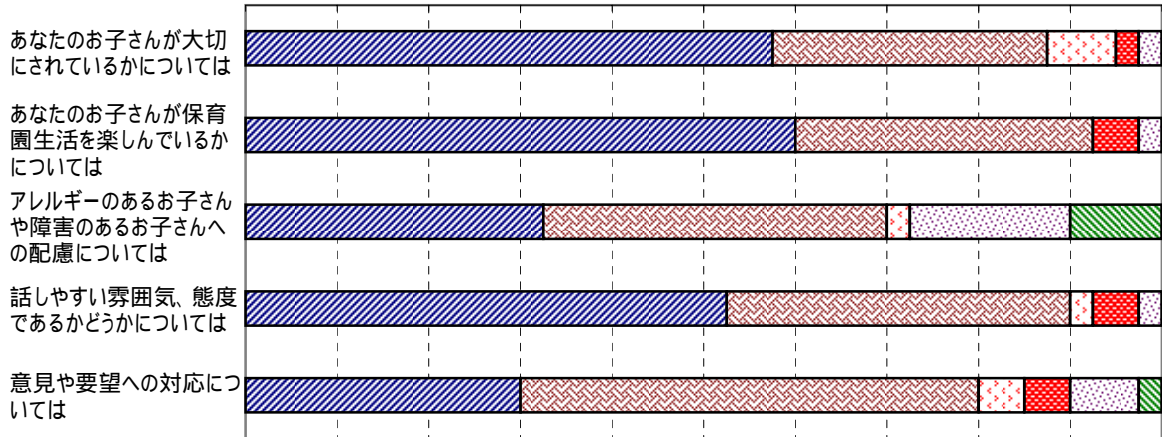
(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答	計
あなたのお子さんが大切にされているかについては	57.5	30.0	7.5	2.5	2.5	0.0	100
あなたのお子さんが保育園生活を楽しくしているかについては	60.0	32.5	0.0	5.0	2.5	0.0	100
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	32.5	37.5	2.5	0.0	17.5	10.0	100
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	52.5	37.5	2.5	5.0	2.5	0.0	100
意見や要望への対応については	30.0	50.0	5.0	5.0	7.5	2.5	100

職員の対応について

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満 ■その他 ■無回答

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

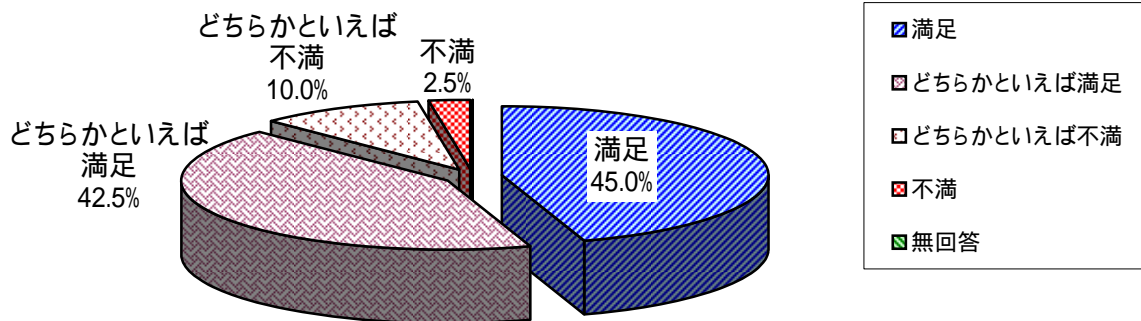


問8 保育園を総合的に評価すると

(%)

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答	計
総合満足度は	45.0	42.5	10.0	2.5	0.0	100

総合満足度



利用者（園児）本人調査 分析

観察調査 12月10日（水）9:00～17:00 12月12日（金）8:20～17:00

両日とも9:00～12:40の時間帯を中心に保育観察を実施し、
給食中や自由遊びなどの会話の中で子どもから適宜聞き取りを行いました。

0歳児クラス

クラスで一番小さい子どもは前年の12月生まれで、ほとんどの子どもが1歳の誕生日を迎えているので、歩いている子どもも多いです。

観察第1日目の朝は、部屋に敷いた敷物の上で遊んでいる子どもたちから、少し離れたところの布団でまだ寝ていたり、保育士に抱かれて哺乳瓶のミルクを飲んでいたりする子どもも見られました。保育士は登園時、保護者の一人ひとりと会話をしています。風邪気味の子どもがいるとのことで、健康状態も丁寧に聞いています。遊んでいる子どもたちは、保育士が出したぬいぐるみや音の出るおもちゃなどから、それぞれお気に入りのものを持って、1人でいたり2～3人で一緒にいたりして遊び、泣く子はほとんどいません。

オムツ交換も子どもの状態に合わせてしていますが、着替えのときは、子どもに「これでいい？」とロッカーから出した衣類を確認することもしています。

天気のよい日は園庭で遊んだり、散歩車に乗ったり保育士に抱かれたりして園の近くを回り、外気にふれています。子どもたちはおそろいの赤い「くまさん帽子」をかぶってニコニコしています。

食事のときも、段階の違う離乳食などが運ばれてきたものを、一人ずつ乳児用テーブル付きのいすに座らせ食べさせています。

保育士は一人ひとりの子どもに合わせて対応しつつ、連携して保育をしている様子が伝わりました。

1歳児クラス

1歳児のクラスは、0歳児と同じ部屋を、固定されたパーティションで区切って使っているため、0歳児の部屋に行く人が通ると、興味深そうに見ている子どもがいます。0歳児より行動的だけにかえて、登園時に柵にしがみついたり、隅に行って泣いていたりする子どももいます。保育士はそのような子どもをやさしく抱っこしたり、声をかけたりして落ち着かせます。その後、保育士がかごから出して並べた乳児用絵本から、お気に入りのものを持って見えています。1人の保育士は連絡帳や投薬の表を見していますが、「ちゃん、今日はお薬ないです。」などと声を出して確認しています。

保育士は手遊びや歌を保育によく取り入れています。子どもたちも「お片づけの歌」「始まりの歌」「朝の歌」などと、季節の歌や好きな歌を元気よく歌っています。

食事のとき食器を投げた子どもがいたら、いつもやさしい保育士も厳しく、危ないことをしてはいけないと教えています。ほとんどの子どもが食事は自分で食べていますし、着替えも手伝ってもらいながら自分でもやろうとしたり、便器に座って排尿ができたりしてほめられるなどがんばっています。

園庭で遊ぶときも4台の三輪車に交替で乗ったり、滑り台や砂場で思い思いに遊んだりするのを、保育士は見守ったり一緒に遊んだりしています。風邪気味で外に行けない2人の子どもも、フリーの保育士に連れられて園舎内散歩をして、満足そうな顔をしていました。

2歳児クラス

このクラスでは、子どもたちは友だちとの交流が深まって、自由遊びで作ったブロックを見せ合ったり、「くん、がんばって。」と応援したりしています。出席の返事や号令によるあいさつも、元気よく上手にできます。

散歩や運動も大好きで、観察第1日目には、子どもたちは少し離れている「港の見える丘公園」まで急坂を上り下りして行って来ました。観察第2日目には近くの山手保育園まで行って帰って来てからも、エレベーターを使わずに2階まで階段を手すり伝いに登りました。

一方保育士から絵本を読み聞かせてもらうのも好きで、ほとんどの子どもは真剣に聞いています。子どもたちも、身支度や給食が早く終わったときの待ち時間などにも絵本を見ています。

給食のとき、保育士が食材を説明し、「ごはんの歌」を歌って「いただきます」をします。保育士はこぼさない子どもをほめ、こぼした子どもには「次、上手に食べようね」と声をかけたり、「野菜好きだよ」と言う子どもには「好きなの、かっこいい」と返したり、楽しく食事をするようにしています。

子どもたちは、トイレも着替えもほとんど自分でできますが、保育士はそれを見守り、ときには手を貸しています。午睡のときも、眠れない子どもの背中をやさしくトントンしています。

子どもたちは、この時期に乳児と幼児の両方の顔を見せ、保育士は、来年は幼児組となる子どもたちの橋渡し役をしているようでした。

3 歳児クラス

朝の会が始まるまで4、5歳児と一緒に遊んでいた子どもたちは、トイレ、手洗い、うがいをすませて保育室に入ります。当番の子どもが帽子をたたんでそろえ、衣服が汚れた子どもには、保育士が着替えを出して渡しています。子どもたちがそれぞれいすを出して来て座り、朝のあいさつをしてから保育士の説明に続いて「今日は12月10日水曜日、お天気は晴れです。」「お当番さんよろしくお願いします」などと一斉に声を上げます。声の大きい元気な子どもたちです。当番は連絡帳、シール、給食のときのスプーンやお茶などを配ります。連絡帳のシールは自分ではり、乳児組との違いがはっきりしています。この日はホールで外部講師から20分音楽の特別保育があり、戻ってからはクリスマスコンサートのダンスの練習をしました。調査員に「見て、見て」とアピールする子どももいました。

園庭での遊びでは、三輪車、滑り台、砂遊びなどのほかに、じょうろで書いた円の中で相撲をしたり色鬼をしたりする子どももいて、保育士はよく分からない子どもにやり方を教えていました。

この日の給食はひと月1度の「世界の料理の日」で、フランス料理が出されました。保育士はメニューを紹介し地球儀で位置を教えました。子どもたちは添えてある手作りのフランス国旗が気に入り、保育士に促されて旗をしまってやっと食べ出した子どももいます。

子どもたちは、保育士や友達の話をよく聞き、幼児らしい集団に成長しています。

4 歳児クラス

4歳児は朝、3、5歳の子と園庭で遊んでから、保育室で朝の会を始めます。

観察第2日目の朝の会の後、クリスマスコンサートの練習をしました。いすを片付けて広くした場所で、ダンスを踊ります。ツバメに扮する子どもたちとリスに扮する子どもたちが順番に踊り、お互いに向き合って片方の演技を見ました。照れている子どもとはりきっている子どもがいます。終わると見ていた子どもたちから拍手が起こりました。

10時30分から30分間の特別保育の体育が行われました。園長も「今日は寒いので体操シャツの下に肌着を着て行きなさい。」などと子どもたちの世話をしています。園の前の麒麟公園に行き、講師を先頭に準備運動の駆け足をしてから長縄跳びをしました。講師は子どもたちに長縄を跳ぶタイミングをつかませるために、円を描いて跳ぶ位置を教え、練習してから跳びますが、うまく跳べないで泣いてしまう子どももいます。保育士はかがんでその子にやさしく寄り添い励ますと、子どもはまた跳び始めました。なかなか跳べないでやり直す友だちに「順番が遅くなる。」と言う子どももいて、その子どもに「それは言いすぎだよ。」とたしなめる子どももいます。少しずつ上手になり縄跳びが終わり、「だるまさんがころんだ」のゲームをすると子どもたちは大喜び。講師も子どもたちの気持ちをつかみ、楽しませています。泣いた子どもも最後はニコニコしていました。

給食が早く終わったときなど、子どもたちは座って静かに本を読んで待っていました。

5 歳児クラス

朝の園庭では、3~5 歳の子どもたちが遊んでいます。一人縄跳びを上手にしている子ども、相撲大会が開かれるとのことで、保育士に見守られ本気で相撲をしている子ども、高い方の鉄棒で前回りをしている子ども、遊具で遊んでいる子どもといろいろですが、活躍しているのはやはり5 歳児のクラスの子どもたちが多いです。メモをしている調査員に「ばつ跳び(交差跳び)がうまいって書いてね。」「アリがクモの巣にひっかかっていたのを見ていたって書いてね。」とにぎやかです。「ダンゴムシは、冬は土の中にいるんだよ。」と知識を披露する子どももいます。会話から、育てている植物だけでなく小さな生き物にも関心を持っていることがうかがえました。

保育室でも、会話をパターン化して練習したり、保育士が「転ばぬ先のー」と言うとみんなで「つえー」と答えるようなことわざクイズをしたり、絵を描くだけでなく発表したりと子どもたちの表現力をつける保育をしています。子どもたちはクリスマスコンサートの歌や12月の歌(ウインターワンダーランド)など、保育士の合図がなくてもよく歌を歌っています。元気で12人とは思えない歌声です。

特別保育の体育の長縄跳びでも、続けて跳ぶタイミングがむずかしい「8の字跳び」の練習をしていて、上手に跳べないで「もう一度」と言われてもめげずにがんばっていました。

子どもたちは保育園の年長児として、自信を持って活動をしているようでした。

まとめ

子どもたちは、十分自由遊びの時間があり、職員に見守られながら元気よく園庭や公園で遊んだり、散歩を楽しんだりしています。

乳児は、画一的でなく一人ひとりの子どものペースが大切にされ、温かみのある保育をされています。

幼児は、特別保育でいろいろなことにチャレンジするとともに、年齢にふさわしいマナーも身につけています。

保育士も子どもたちもよく歌を歌い、いつも園に歌声が響いています。同時に待ち時間には静かに絵本を見ることも多く、メリハリのついた子どもたちが育っています。

事業者コメント

皆様のご協力により、このような機会に恵まれたことをあらためてお礼申し上げます。

自己評価作業でさまざまな課題も浮かび上がり、とかく偏りがちな保育園の中で、第三者の目をもって我々職員の行動を再認識することは非常に貴重なことでした。今回のご指南を参考に、安全な保育の運営と、常に風通しを良くし、外部との関わりを忘れずに今後も参りたいと思います。

開所して3年目ですが、保護者のみなさんとの協力のなかで、昨日より今日、今日より明日と、これからも努力を惜しまず向上をめざしていきます。このたびはありがとうございました。

～ 評価結果は、下記のウェブサイトからも見るができます ～

市民セクターよこはまの第三者評価のページ

<http://www.shimin-sector.jp/hyouka/>

横浜市(健康福祉局)の福祉サービス第三者評価のページ

<http://cgi.city.yokohama.jp/kenkou/jigyousyajoho/hyoukaall.cgi>

かながわ福祉サービス第三者評価推進機構のページ

<http://www.k-daisansyahyouka.org/>

特定非営利活動法人



特定非営利活動法人

市民セクターよこはま 評価事業部

かながわ福祉サービス第三者評価認証機関 第4号

横浜市福祉サービス第三者評価指定機関 第4号

〒231-0013 横浜市中区住吉町二丁目 26 番地 洋服会館 2 階

TEL:045-222-6501

FAX:045-222-6502

<http://www.shimin-sector.jp>
